

愛媛県立図書館利用案内

借りる

- ▶カウンターで「利用カード」を作しましょう。
愛媛県在住・在学の方は、だれでもカードを作ることができます。
本人の住所確認ができるもの（生徒手帳や保険証など）が必要です。
- ▶本は、5冊まで3週間以内で借りられます。
カウンターに借りたい本とカードを出してください。

返す

- ▶返す本をカウンターに出してください。（カードは要りません。）
次の予約が入ってない場合、1回だけ延長ができます。
- ▶図書館が閉まっているときは玄関外の返却ポストに入れてください。

探す

- ▶図書館の検索用コンピュータで探すことができます。
（書名や著者名で検索できます。）
- ▶パソコンやスマートフォンなどで探すこともできます。
※分からないときはカウンターでたずねてください。

予約

- ▶予約申込書に必要事項を記入して、カウンターに出してください。
- ▶パスワードを登録すると、パソコンやスマートフォンなどから予約することもできます。
※利用カードをお持ちの方のパスワードの登録は、カウンター窓口、郵送、FAX、メール、手のひら県庁で申請できます。

愛媛県立図書館

〒790-0007 愛媛県松山市堀之内
TEL : 089-941-1441(代) FAX : 089-941-1454
<https://lib.ehimetosyokan.jp>



★開館時間★

(火～金) 9:40～19:00
(土日・祝日) 9:40～18:00
(子ども読書室は17:00まで)
(えひめ資料室は18:00まで)

★休館日★

月曜（祝日の場合は直後の平日）、館内整理日（月末）、
年末年始、特別整理期間（3月中10日以内で館長が定める日）



←スマートフォンサイト

<https://www.ehimetosyokan.jp/winj/sp/top.do>



愛媛県立図書館 3階YAコーナー

Vol.82 2024.6

展示(6月～8月)

夏に読みたい本



📖 新刊案内 📖

📖『人生のルールを外れる衝動のみつけかた』	谷川 嘉浩／著	筑摩書房
📖『10代からの政治塾 子どもも大人も学べる「日本の未来」の作り方』	泉 房穂／著	KADOKAWA
📖『アメリカの子どもが読んでいる お金のしくみ』	ウォルター・アンダル／著 木村 満子／訳	ダイヤモンド社
📖『高校進学でつまずいたら「高1クライシス」をのりこえる』	飯村 周平／著	筑摩書房
📖『水産学部・畜産学部・森林科学部 中高生のための学部選びガイド』	佐藤 成美／著	ぺりかん社
📖『答えは旅の中にある』	小手鞠 るい／著	あすなる書房
📖『ぼくは青くて透明で』	窪 美澄／著	文藝春秋
📖『彼女たちのバックヤード』	森埜 こみち／作	講談社
📖『恋とそれとあと全部』	住野 よる／著	文藝春秋
📖『アフェイリア国とメイドと最高のウソ』	ジェラルディン・マコックラン ／著 大谷 真弓／訳	小学館



夏に読みたい本

2024年6月1日～8月29日

この夏は何をする予定ですか？勉強？部活動？？将来について考える？？？そんな、夏の間にはっきりと向き合いたい分野の本をピックアップしました。
自分の経験と本の内容とを照らし合わせたり未経験の世界について知ったりすることで見えてくることもあるかもしれません。



『長浜高校水族館部！』
令丈ヒロ子／文 紀伊 カナ／絵
講談社 2019

部活動



愛媛県立長浜高等学校には「水族館部」があり、生徒が水族館を運営している。生き物の命をあずかるこの部では、思いもかけないことがつぎつぎ起きて…。
実在の部を舞台に描くドキュメント小説。

『リマ・トゥジュ・リマ・トゥジュ・トゥジュ』
こまつ あやこ／著 講談社 2018

学校生活



2019年度中学入試最多出題作！
マレーシアからの帰国子女、沙弥は日本の中学に順応しようと四苦八苦。ある日、延滞本の督促で有名な「督促女王」から図書室に呼び出され、一緒に「ギンコウ」に行くことに。それは短歌の「吟行」のことだった…。

『ヨンケイ!!』
天沢 夏月／著 ポプラ社 2021

部活動



慢性的な人数不足に悩む離島・大島の渚台高校陸上部に奇跡的に4人の男子スプリンターがそろった。インターハイを目前に控え、4×100mリレー（四継）に挑むことになるが、メンバーの人間関係はサイアク……。
チームワーク最悪の男子高校生たちが4×100mリレーに挑む青春小説。

『未来が変わる勉強法』
安田 祐輔／著 KADOKAWA
2022

勉強



不登校・中退、ひきこもりから、学び直して大学を目指す方法を伝授。不登校から大学に進学するメリット、学習計画の立て方、教材の選び方など、勉強を続けるコツを解説。不登校の乗り越え方、その後の人生の生き方も紹介する。

『16歳の語り部』
雁部 那由多・津田 穂乃果・相澤 朱音／語り部
佐藤 敏郎／案内役 ポプラ社 2016

災害



東日本大震災から5年。当時、東松島市立大曲小学校に通う小学5年生だった3人が“あの日”を語る。16歳になった彼らにしか語れない言葉の記録。話を聞いた、東京都の高校生、元・宮城県中学校教師の言葉も掲載。



他にも、人生をやりなおそうとする「未来から来た」クラスメイトに影響を受ける『リメイク・シックステーン』、弱小相撲部屋に呼出見習いとして入門した17歳の主人公が仕事の喜びに目覚める『櫓太鼓がきこえる』など、自分自身を見つめることができる小説や、『アップサイクル！ぼくらの明日のために』などを展示しています。

メールでもご質問やご意見を受け付けます。➡ya@libnet.ehimetosyokan.jp
* 件名に「YAメールレファレンス」と入力してください。* お名前、連絡先メールアドレスも忘れずに。